



7月、市内小学校で在宅避難についてのワークショップが行われました。テーマは「我が家を最強の避難所にするプラン」。子ども達には、災害が起きても我が家が一番安全な場所であるために何をすべきか、自分たちで考え実践する力をつけてもらいたいと願っています。

市長からの メッセージ



防災の日、 在宅避難を考える

9月1日は「防災の日」です。この時期、お住まいの地域や学校、勤務先で、避難訓練に参加される方も多いことと思います。

私も、市長という立場から、防災に関する情報収集は日頃から欠かすことができませんが、特にこの時期は、身の引き締まる思いで防災に向き合うようにしています。

さて、7月28日に発生しました令和8年熊本地震で亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

この地域でも、南海トラフ地震の発生がかねてより懸念されており、愛知県による被害想定も約12年ぶりに見直されました。地震は、季節や時間帯を選ばず突然起こります。いざ発生したときに最優先すべきは、自身と家族の身の安全確保、その次に考えるのが「避難」です。

避難先としては、まず指定避難所が思い浮かびますが、前ページにあるとおり環境変化の負担が比較的少ない「在宅避難」という選択肢もあります。我が

家は幼児の孫を含め同居の家族、愛犬もいるため、プライバシーが確保され、家族やペットとともに過ごせる利点が大いことから、在宅避難を視野に入れて必要な備えを整えています。

ご家庭の事情や発災時の被害状況はそれぞれ異なると思いますので、この機会にご家族の皆さんで話し合ってみてはいかがでしょうか。

また、発災時には行政として、ライフラインの復旧や救援物資の対応等に全力を尽くしますが、災害直後は十分に行き届かないことも想定されます。ご家庭で、生活物資の備蓄を確認する等、防災に対する意識を高めましょう。



ペットのための
備えも忘れずに